第７期障がい福祉計画の策定に向けたアンケート

－ ご協力のお願い －

市民のみなさまには、日ごろから本市の障がい福祉行政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

本市では現在、令和６年度から令和８年度を計画期間とする第７期障がい福祉計画および第３期障がい児福祉計画の策定に向けた作業を進めています。

この調査は、計画策定の基礎資料とするため、市内にお住まいの障がいのある方を対象に、生活やサービス利用の状況、福祉施策に対するお考えなどをおうかがいすることを目的に実施するものです。ご多用中のところ誠に恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、率直なご意見、ご要望などをお聞かせくださいますよう、よろしくお願い申しあげます。

前回の第６期障がい福祉計画策定時においてもアンケートを実施し、ご回答いただいた内容について施策の参考とさせていただきました。今回のアンケートも同様に役立てていきますので、ぜひ回答へのご協力をお願いいたします。

なお、みなさまからご回答いただいた内容は統計的に処理し、計画策定の基礎資料としてのみ使用いたします。個人情報の管理には万全を尽くし、ご回答いただいた内容を他に漏らしたり、他の目的に使用することは決してありませんので、安心してご記入ください。

令和５年（2023年）５月

吹田市 障がい福祉室

＜ご記入にあたって＞

１　このアンケートは、令和５年(2023年)５月１日時点で吹田市に住民登録のある障がい者手帳をお持ちの方等の中から無作為に選んだ2,000人の方にお送りしています。

２　アンケートには、できるだけあて名のご本人がお答えください。ただし、障がいや病気の状況、ご本人の年齢などによってご本人が記入できないときは、あて名のご本人を介助・支援されている方、または家族の方などがご本人と相談してお答えください。

３　各質問には、令和５年(2023年)５月１日現在の状況でお答えください。

４　質問への回答は、あてはまる番号に○をつけたり、記入欄に直接お書きいただくものなどがあります。また、質問によって選んでいただく数を「１つ」「すべて」などと指定しています。

５　「その他」を選ばれたときは、（　　）内に具体的にその内容をお書きください。

６　記入が終わりましたら、６月16日(金)までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れてご投函ください。お名前を記入していただく必要はありません。

７　次のアドレスまたは二次元バーコードからインターネットを通じて

ご回答いただくことも可能です。（調査票の返送は不要です。）

https://enquete.cc/q/suita\_a

８　調査票の電子データでの送付を希望される方、その他配慮が必要な方は、お手数ですが、下記担当までご連絡ください。

（この調査についてのお問い合わせ先）

吹田市 障がい福祉室

電話：０６－６３８４－１３４９（直通）

ＦＡＸ：０６－６３８５－１０３１

メール：keikaku-shogai@city.suita.osaka.jp

あなたについて

問１　この調査票を記入した人はどなたですか。（〇は１つ）

１　本人が記入

２　本人の意向を、家族又は支援者等が記入

３　本人に代わって家族が記入

４　本人に代わって支援者等が記入

問２　あなたの性別を教えてください。（〇は１つ）

１　男性

２　女性

３　その他

問３　あなたの年齢を教えてください。（〇は１つ）

１　18歳～39歳

２　40歳～64歳

３　65歳～74歳

４　75歳以上

問４　障がい者手帳を持っている人は等級を教えてください。また、指定難病、発達障がい、高次脳機能障がいの診断、強度行動障がいの有無について、教えてください。（あてはまるものすべてに○）

１　身体障がい者手帳１級

２　身体障がい者手帳２級

３　身体障がい者手帳３級

４　身体障がい者手帳４級

５　身体障がい者手帳５級

６　身体障がい者手帳６級７　療育手帳Ａ

８　療育手帳Ｂ１

９　療育手帳Ｂ２

10　精神障がい者保健福祉手帳１級

11　精神障がい者保健福祉手帳２級

12　精神障がい者保健福祉手帳３級13　自立支援医療（精神通院）の制度を利用している

14　医療費助成の対象となる指定難病と診断された

15　発達障がいと医師から診断された（自閉スペクトラム症（ＡＳＤ）、注意欠如・多動症（ＡＤＨＤ）、学習障がい（ＬＤ)、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、発達にアンバランスがある等）

16　高次脳機能障がいと医師から診断された

17　強度行動障がいがある（自傷・他傷自傷・他傷・破壊・非衛生的行動・異食・極端な固執行動など）

問４付問　また、身体障がい者手帳をお持ちの人は、障がいの種類を答えてください。（あてはまるものすべてに○）

１　視覚障がい

２　聴覚障がい・平衡機能障がい

３　音声・言語・そしゃく機能障がい

４　肢体不自由

５　内部障がい

問５　障害支援区分の認定を受けていますか。（〇は１つ）

１　認定を受けた

２　認定を受けていない

問５付問　受けた人は、どの区分で認定を受けていますか。（あてはまる区分に○）

１　区分１

２　区分２

３　区分３

４　区分４

５　区分５

６　区分６

７　非該当

問６　現在、病院に通院していますか。（あてはまるものすべてに○）

１　通院していない

２　障がいや難病等に関わることで通院をしている

３　その他の病気で通院している

問７　自宅で日常的に行っている医療的ケアはありますか。（あてはまるものすべてに○）

１　なし

２　人工呼吸器の管理

３　気管切開部の管理

４　吸引

５　吸入（薬剤など）

６　在宅酸素

７　在宅中心静脈栄養

８　経管栄養

９　人工透析（腹膜透析を含む）

10　自己注射

11　ストマ管理

12　導尿（膀胱留置カテーテルを含む）

13　排便管理（浣腸、摘便など）

14　スキンケア（褥瘡予防）

15　その他

問８　あなたの現在の生活で、必要な支援は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１　特にない

２　食事

３　トイレ

４　入浴

５　身だしなみを整える

６　服の着脱

７　寝返りや起き上がり

８　家の中の移動

９　買い物

10　外出

11　意思疎通

12　服薬

13　家事

14　お金の管理

15　文字を読んだり書いたりする

16　その他

問９　あなたを主に支援しているのはどなたですか。（あてはまるもの１つに〇）

１　母親

２　父親

３　祖母

４　祖父

５　兄弟姉妹

６　子ども

７　ヘルパーなど福祉サービス事業所の職員

８　その他

問10　あなたはどのようなところで暮らしていますか。（あてはまるもの１つに○）

１　ひとり暮らし

２　家族と同居

３　障がい者グループホーム

４　障がい者の入所施設

５　高齢者用の施設

６　病院

７　その他

将来の暮らしについて

問11　あなたは、将来、どのような暮らし方をしたいですか。（あてはまるもの１つに〇）

１　ひとり暮らし　⇒　問13へ

２　家族と同居　⇒　問13へ

３　障がい者グループホームで暮らす　⇒　問12へ

４　障がい者や高齢者の入所施設で暮らす　⇒　問13へ

５　わからない　⇒　問13へ

６　その他　⇒　問13へ

問12　（問11で「３　障がい者グループホーム」と回答した人）いつからグループホームを利用したいですか。（あてはまるもの１つに〇）

１　利用中

２　今すぐ

３　３年後までに

４　３年後よりも後で

問13　あなたが、希望する暮らし方を実現するために、必要なことは何ですか。（あてはまるもの３つまでに○）

１　身近な相談体制

２　制度やサービスの情報提供

３　障がい者の人権を守る施策

４　訪問系サービスの充実

５　通所施設の充実

６　グループホームの充実

７　年金や手当などの充実

８　医療体制の充実

９　コミュニケーションについての支援

10　就労支援の充実

11　ピアサポートなど、当事者の関わりの場の充実

12　その他

日中活動やお仕事について

問14　あなたは、どれくらい外出しますか。（〇は１つ）

１　ほとんど毎日（週６～７日）

２　週３～５日

３　週１～２日

４　月２～３回

５　月１回

６　ほとんど外出しない

７　その他

問15　あなたは、外出するとき、どのようなことに困っていますか。（あてはまるものすべてに○）

１　介助者が確保できない

２　外出にお金がかかる

３　発作など突然の体調の変化が心配

４　外出先の建物や乗り物が不便（通路、トイレ、エレベーターなど）

５　切符を買う方法や乗り換えの方法がわからない

６　点字や音声案内がない

７　外出先のバリアフリー情報がない

８　その他

問16　あなたは、平日の昼間の時間帯は、どのように過ごしていますか。（時間が長いもの３つまでに○）

１　自宅や入院している病院、グループホームで過ごしている

２　障害福祉サービスの日中活動系サービスに通っている（生活介護、就労移行支援、就労継続支援Ａ型又はＢ型、自立訓練）

３　学校に通っている

４　病院に行っている（診察、リハビリ、訓練）

５　正規の職員として働いている

６　パートやアルバイト、契約社員等で働いている

７　自営業をしている

８　その他

問17　あなたは、現在、どのような仕事をしていますか。（あてはまるもの１つに〇）

１　働いていない　⇒　問18へ

２　就労移行支援、就労継続支援Ａ型及びＢ型の施設　⇒　問21へ

３　パート、アルバイト、派遣社員、契約社員 ⇒　問21へ

４　正規職員 ⇒　問21へ

５　自営業 ⇒　問21へ

６　家の仕事の手伝い ⇒　問21へ

７　その他　⇒　問21へ

問18　（問17で「１　働いていない」と回答した人）あなたは、働くことを希望しますか。（あてはまるもの１つに〇）

１　希望する　⇒　問19へ

２　希望しない⇒　問23へ

３　わからない⇒　問23へ

問19　（問18で「１　希望する」と回答した人）あなたは、どのような仕事を希望しますか。（あてはまるもの１つに〇）

１　就労移行支援、就労継続支援Ａ型及びＢ型の施設

２　パート、アルバイト、派遣社員、契約社員

３　正規職員

４　自営業

５　家の仕事の手伝い

６　その他

問20　（問18で「１　希望する」と回答した人）あなたが、希望する仕事に就けない理由は何ですか。（あてはまるもの３つまでに○）

１　近くで働く場がないから

２　自分に合った仕事がないから

３　職場への交通が不便だから

４　病気があるから

５　高齢であるから

６　介助者がつかないから

７　障がいへの理解がない対応が嫌だから

８　仕事の見つけ方がわからない（どこに相談したらいいかわからない）

９　求人がない

10　その他

問21　（問17で２～７までのいずれかと回答した人）あなたは、どのような働き方を希望されますか。（あてはまるもの１つに〇）

１　特にない

２　一般の職場でなく障がいのある人が通う福祉施設で生産活動をしたい

３　一般の職場で働きたい

４　自宅でできる仕事がしたい

５　その他

問22　（問17で２～７までのいずれかと回答した人）あなたの現在の仕事に必要な支援は何ですか。（あてはまるもの３つまでに○）

１　職場や作業の環境のバリアフリー化

２　職場への交通の確保

３　作業内容のわかりやすい説明

４　短時間労働を認めてほしい

５　休みを取りやすい環境づくり

６　仕事の作業を指導してくれる人や人間関係を調整してくれる人など、相談できる環境づくり

７　職場で介助者の支援を受けることができる仕組みづくり

８　その他

情報や相談について

問23　あなたは、保健や福祉サービスに関する情報をどのように入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

１　パソコン

２　スマートフォン

３　市役所などが発行している広報誌

４　市役所などの窓口

５　障がい者相談支援センター

６　障がい福祉サービス事業所等の職員（支援員やヘルパー）

７　病院や診療所

８　保健所

９　障がい福祉団体やサークル

10　同じ障がいのある当事者

11　民生委員・児童委員

12　家族や親せき

13　友人、知人や近所の人

14　テレビ

15　ラジオ

16　新聞・雑誌・書籍

17　情報を得ることができない

18　その他

問24　障がい者による情報の入手やコミュニケーションに関する施策を進めるため、令和４年５月に障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が施行されました。あなたはその法律を知っていますか。（〇は１つ）

１　知らない

２　聞いたことはあるが詳しくは知らない

３　知っている

問25　障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法では、障がい者による情報の入手やコミュニケーションに関する施策を進めるための基本理念について規定しています。その中であなたが生活するうえで特に重要と思うものは何ですか。（あてはまるもの１つに○）

１　情報の入手やコミュニケーションの方法について、障がいの種類・程度に応じて選ぶことができるようにする

２　どこに住んでいても同じ情報を入手できるようにする

３　誰もが同じ情報を同じタイミングで入手できるようにする

４　全ての障がい者がインターネットなどの情報通信技術を活用し、必要な情報を入手したりコミュニケーションを取ることができるようにする

問26　あなたが、コミュニケーションを取る時、必要な支援は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１　必要がない

２　文字（筆談や意思伝達装置など）

３　絵やイラスト

４　身ぶりや仕草など

５　手話

６　点字

７　触手話や指点字

８　大きな声でゆっくり話す

９　わかりやすい言葉で話す

10　その他

問27　あなたは、困ったことや相談したい時、どこ（誰）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

１　家族や親せき

２　市役所（障がい福祉室など）

３　障がい者相談支援センター

４　社会福祉協議会

５　保健所

６　障がい福祉サービス事業所等の職員（支援員やヘルパー）

７　病院などの医師や看護師

８　職場や学校の人

９　障がい福祉団体やサークル

10　ピアカウンセラー（同じ障がいがあり相談にのってくれる人）

11　民生委員・児童委員

12　友人、知人や近所の人

13　相談したくても、誰もいない

14　誰にも相談しない

15　その他

問28　あなたは、障がい者相談支援センターを利用したことがありますか。（〇は１つ）

１　ある ⇒　問30へ

２　ない ⇒　問29へ

障がい者相談支援センターとは、

吹田市全域を6ブロックに分け、地域での身近な相談窓口として、障がい者相談支援センターを設置しています。（内本町、片山・岸部、豊津・江坂・南吹田、千里山・佐井寺、亥の子谷、千里ニュータウン）

障がい者等からの保健・医療・各種の福祉に関する相談に応じ、必要な助言や障がい福祉サービス等の利用支援等の調整、権利擁護の援助、障がい者手帳の申請受付、その他給付サービスの申請受付等を行っています。

問29　（問28で「２　ない」と回答した人）あなたは、障がい者相談支援センターが市内６か所に設置されていることを知っていますか。（〇は１つ）

１　知っている

２　知らない

問30　あなたが、相談支援体制について、希望することは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１　福祉の専門職を相談窓口に配置する

２　ピアカウンセラー（同じ障がいがあり相談にのってくれる人）を相談窓口に配置する

３　障がいの診断、治療やケアなどの医療的な相談窓口を設置する

４　休日や夜間の電話相談

５　自分の身近な地域で相談できる窓口を設置する

６　特にない

７　その他

障がい者の人権や障がい者理解について

問31　あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。（〇は１つ）

１　知らない ⇒　問34へ

２　聞いたことはあるが、詳しくは知らない　⇒　問34へ

３　知っている　⇒　問32へ

４　知っており利用もしている　⇒　問34へ

問32　（問31で「３　知っている」と回答した人）あなたは、支援が必要になったときに、成年後見制度を利用したいと思いますか。（〇は１つ）

１　将来に備えて援助者（後見人）を選んでおきたい　⇒　問34へ

２　必要になれば利用したい　⇒　問34へ

３　利用したいとは思わない　⇒　問33へ

４　わからない　⇒　問34へ

５　その他　⇒　問34へ

問33　（問32で「３　利用したいとは思わない」と回答した人）利用したいと思わない理由は何ですか。（あてはまるもの１つに○）

１　制度がわかりにくいから

２　費用負担があるから

３　誰が援助者（後見人）になるか不安だから

４　他人に財産や生活状況を知られたくないから

５　手続が面倒だから

６　その他

問34　最近３年以内に、正当な理由なく、障がいを理由として拒否されたり、場所や時間帯などを制限されたり、障がいのない人にはつけない条件をつけられたりするなどの差別を受けたり、偏見を感じたことはありますか。（〇は１つ）

１　ある　⇒　問35へ

２　ない　⇒　問37へ

３　わからない　⇒　問37へ

問35　（問34で「１　ある」と回答した人）どのような時に差別を受けたり、偏見を感じましたか。（あてはまるものすべてに○）

１　進学するとき

２　学校生活

３　就職のとき

４　職場生活

５　近所付き合い

６　地域行事や集まり

７　入店拒否や店員の対応

８　入居拒否

９　診療拒否

10　乗車拒否

11　交通機関や建築物での配慮のなさ

12　まちでの人の視線

13　市役所の応対や態度

14　家族や親類など身内からの差別

15　その他

問36　(問34で「１　ある」と回答した人）差し支えなければ、あなたが経験されたことを具体的に記入してください。

災害時について

問37　あなたは、地震などの災害時の、最寄りの避難所を知っていますか。（〇は１つ）

１　知っている　⇒　問38へ

２　知らない　⇒　問40へ

問38　（問37で「１　知っている」と回答した人）災害が発生した時、あなたは避難所に避難しますか。（〇は１つ）

１　する　⇒　問40へ

２　しない　⇒　問39へ

３　わからない　⇒　問39へ

問39　（問38で「２　しない」または「３　わからない」と回答した人）避難所に避難しない理由は何ですか。（あてはまるもの３つまでに○）

１　意思疎通の支援がないから

２　介助がないと自宅から出られないから

３　避難所がバリアフリーでないから

４　必要な医療や支援が受けられないから

５　周囲の目が気になるから

６　その他

問40　吹田市では、災害時に要介護認定高齢者や障がい者等、一般の避難所では生活することが困難な方を対象に開設する避難所として、市内各地に福祉避難所が設置されています。あなたは福祉避難所を知っていますか。（〇は１つ）

１　知っている

２　知らない

問41　あなたにとって、地震などの災害時に、必要な支援は何ですか。（あてはまるもの３つまでに○）

１　障がい特性に合った情報提供

２　避難所でのコミュニケーション支援（手話通訳者や筆談ボードの設置など）

３　避難所での食事介助等のソフト面の支援

４　避難所の段差等ハード面の課題を解消するための支援

５　避難所や自宅への医師、看護師等の派遣

６　障がい者用の相談窓口の設置

７　平時からの避難訓練への参加

８　常用薬や医療用消耗品等の確保

９　その他

障がい者施策全般について

問42　最後に、障がい者施策の推進に向け、要望があれば、記入してください。

調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに６月16日(金)までに郵便ポストに投函してください。